

中庭にあるアトリエ

平日、午後にインフォメーション・スタッフが中庭に移築された小磯良平のアトリエで解説。



展覧会にあわせて、学芸スタッフによるギャラリートークもしくは解説会を適宜行います。また、美術講座をはじめ、講演会や関連講座、子供向けワークショップ「びじゅつかん大作戦」、一般の方を対象としたワークショップや「赤ちゃん家族の日」も随時開催いたします。

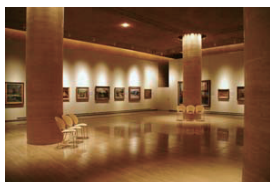
※詳細は美術館までお問い合わせください。

六甲アイランド美術館めぐり

六甲アイランドには小磯記念美術館のほかにも、神戸ゆかりの美術館と神戸ファッション美術館があり、芸術・文化ゾーンを形成しています(3館で相互割引があります。展示の詳細については、各館にお問い合わせください)。



神戸ゆかりの美術館・神戸ファッション美術館 建物外観



神戸ゆかりの美術館
TEL 078-858-1520



神戸ファッション美術館
TEL 078-858-0050

神戸市東灘区向洋町中2-9-1

- 開館時間 午前10時～午後5時
※入館は閉館の30分前まで
- 休館日 毎週月曜日(月曜日が祝休日の時は直近の平日)
年末年始(12/29～1/3)、展示替期間など

	個人	団体(30名以上)
一般	200円	160円
大学生	100円	50円

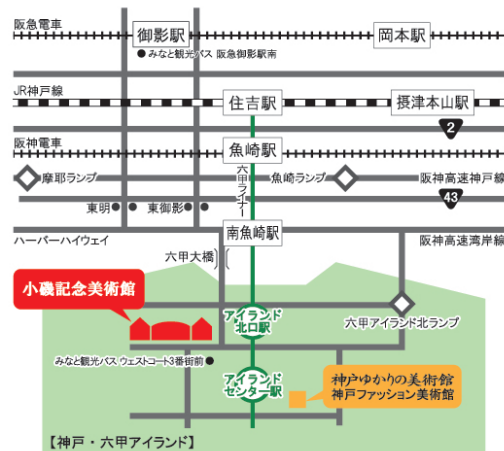
◎ただし、特別展などの入館料はその都度定めます。

◆高校生以下の方は無料

◆神戸市内在住で65歳以上の方は特別展開催時は半額、それ以外の展示は無料(住所・年齢のわかるものをご持参ください)

※詳しくは美術館までお問い合わせください。

- 交通 ●JR「住吉駅」または阪神「魚崎駅」乗り換え
六甲ライナー「アイランド北口駅」
(住吉駅から7分、魚崎駅から5分)下車、西へ徒歩すぐ
- 阪急「御影駅」の南側より、みなと観光バス131系統にて「ウエストコート3番街前」下車すぐ
- ※美術館の地下に六甲アイランド公園西駐車場(有料)があります。



神戸市立小磯記念美術館

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中5丁目7
TEL:078-857-5880 FAX:078-857-3737

<https://www.city.kobe.lg.jp/koisomuseum/>



令和5年3月発行

展覧会案内

2023.4 ▶ 2024.3



小磯良平《働く人》1959 当館蔵

KOBE CITY
KOISO MEMORIAL MUSEUM
OF ART

神戸市立小磯記念美術館

～4/16⑥

<展示室1>

小磯良平作品選

<展示室2・3>

石坂春生と新制作の神戸

コレクション企画展示

4/21⑤～7/2⑥

<展示室1・2・3>

コレクション企画展示 / 小磯良平作品選 I

KOISOポートレートミュージアム 肖像画の集結&兵庫県内めぐり

人物画に定評のある小磯良平は、依頼を受けて多くの肖像画を制作しました。「KOISOポートレートミュージアム」として、当館管理作品を一堂に紹介します。身近な人々、記録のためのスケッチ、企業や学校関係者など、人々の内面に迫る表現をご覧ください。

「兵庫県内めぐり」では梶井一夫や元川嘉津美など神戸ゆかりの画家たちの作品も併せて展示します。



小磯良平《淡路イザナギ神宮》1954 当館蔵



小磯良平《宮崎辰雄氏像》c.1980 当館蔵

7/15⑤～9/24⑥

<展示室1・2>

夏休み特別展

漫画家生活60周年記念 青池保子 Contrail 航跡のかがやき

青池保子氏(山口県下関市出身)は美術や歴史に関する漫画を数多く描き、独創的なストーリーと美しい絵で独自の世界を築いてこられました。デビュー作「さよならナネット」から少女漫画界に衝撃を与えた「イブの息子たち」、大人気作「エロイカより愛をこめて」、中世3部作「アルカサルー王城」「修道士ファルコ」「ケルン市警オド」まで、緻密なカラー原画とモノクロ原画を300点以上、8章構成で紹介いたします。60周年の仕事記念する最大規模の展覧会です。



青池保子「エロイカより愛をこめて」1980 秋田書店蔵



青池保子「ケルン市警オド」2020 秋田書店蔵

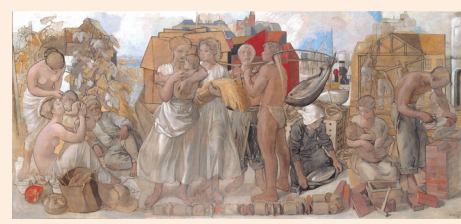
10/7⑤～12/17⑥

<展示室1・2・3>

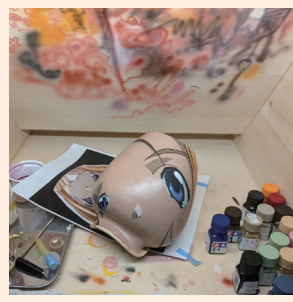
特別展

小磯良平生誕120年 働く人びと

「働く人」をテーマに作品を特集します。小磯良平は、画業最大の作品《働く人びと》(1953年、194.0×419.0cm)をはじめとし、50年代を通じて「働く人」を描いた絵画を発表しました。本展では、小磯の生誕120年を記念して、小磯が「働く人」を描いた一連の作品が一堂に会します。また、戦後から現代にいたるまでのさまざまな芸術家の作品から、「働く人」がどのように表現されてきたのかを探ります。



小磯良平《働く人びと》1953 当館寄託



こうたろう／前光太郎 つばみ制作風景 2023 ※実際に展示する作品は異なる可能性があります。

2/17⑤～3/31⑥

<展示室1・2>

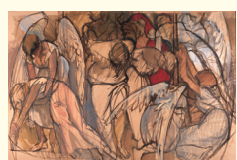
コレクション企画展示

サインのない絵画 きらめく原石たち

当館は、小磯良平のアトリエと、そこに残された作品の数々を神戸市が受贈したことに出発しています。そこには小磯が世に問うことのない作品も数多く含まれていました。それら「サインのない」絵画は、小磯の構想が生ので表れ、完成作には見られない魅力を放っています。サインのない絵画に、作品の原石の輝きをお楽しみください。



小磯良平《母子群像》1956 当館蔵



小磯良平《群像》1960 当館蔵

<展示室3>

小磯良平作品選 II

收藏品から宝塚やデザインに関係する作品などを紹介します。



小磯良平《騎士の門出》1975 当館蔵



小磯良平《婦人像》1956 当館蔵

<展示室3>

小磯良平作品選 III

当館で収蔵する小磯良平の作品を展示します。



小磯良平《着物の女》1936 当館蔵

は休館日 ◎年間を通しての展覧会スタンプラリーを開催します。ぜひご参加ください。

カレンダー 休館日

Calendar grid showing dates from April to March with color-coded days (red for closed, blue for open).